

第 5 回まちのきこり人育成講座報告

平成 26 年 5 月 12 日

作成者名 清水 環

1. 活動場所 : まなびの森
2. 活動日 : 平成 26 年 5 月 10 日 天候 晴
3. 参加者 会員 : 瀧口、滝口 (あ)、蒲田、松永、大石、清水、高崎、浅沼、館、中橋、澤田、岡島
計 12 名
会員外: 育成講座受講生 9 名

⊙事前安全対策 : 準備体操、打ち合わせ、明確な指示、KY 確認、服装点検

4. 活動内容

- ・ 9 : 00 より参加者全員出席で開始
- ・ 地域の種で実生苗や種子から直根を守り獣害対策して育てていること、竹ポットについて説明
- ・ 下大久保の竹林にて、竹の除伐、昼食、タケノコ掘り
- ・ 午後はまなびの森にて竹ポット製作、コナラの植え替え
- ・ ロープワーク、感想の発表

⊙今後の展開

5. 活動振り返り

- ・ こちらで運ばなくてもいいよう現場へ移動する前にヘルメットを配る
- ・ 道具を片付けてから次の活動に移ることを伝える
- ・ 今回参加者にとっては「楽しむ講座」となり、少しずつ盛りだくさんの内容でそれもこれも「もうちょっと続けたい」という気持ちで次の内容に移らねば！という感じ

6. 連絡事項

参加者のみなさんは疲れや水分補給に気づかず指示のままずっと動き続けることが多いので…

- ・ 順番待ちの兼合いがあっても必要ない時もあるけれど、午前・午後に各 1 回、休憩が必要ないか担当や班長が様子見て声をかける
- ・ 作業場所までリュックを持って行かないけれど水分は持って行き適宜取るようすすめる
- ・ 写真を見ると、林内ではヘルメットを被っているけれど、竹ポット、苗木の時は会員含めヘルメットを被っていません。講座中は(昼食以外?)被るのか臨機応変でもよいか? 気になりました。

報告は以上。

さわやかな竹林で作業、昼食後タケノコを掘り…



横で茹でながら竹ポットを作成



参加者のひとこと感想（森林の風だより 20 号に記載予定）

- ・ 実用的な所から学ぶ。
- ・ 故郷の山がこんなに荒れているとは驚き。みなさんと一緒に元気にしたい！！
- ・ おいしい空気をいっぱい吸って、いい汗かいて、おいしいゴハンが最高！！これからも安全で楽しく続けたい。
- ・ 「安全第一」をモットーに事故のなきよう。自分の体力に合った作業配分。
- ・ いつもマンツーマン状態で教えてもらえるのがうれしいです。これからも続けられそうです。
- ・ 森の間伐の大切さを感じています。太陽の恵みの有難さを木や地面に送ります。
- ・ 竹はおもしろい。
- ・ 林は生やし。林業のことはまだわからないことも多い、野生動物や畑の知識が応用できる。ただし今回は木が相手、もっと実践から学んでいきたい。
- ・ 少しは森人になれたかな？